

かけはし 74

No.



CONTENTS

- | | | | |
|--------------------------|-----|----------------------|-----|
| ・院長 新年のご挨拶 ······ | (2) | ・薬剤科 実務実習を終えて ······ | (5) |
| ・新入職員紹介 ······ | (2) | ・骨髓バンク ······ | (6) |
| ・生活習慣病を予防しましょう! ······ | (3) | ・家族の癒し系アイドル ······ | (7) |
| ・リハビリテーション科 見学実習を終えて ··· | (3) | ・地域医療連携室だより ······ | (7) |
| ・病気のはなし:健診を行っていますか? ··· | (4) | ・診療日程表 ······ | (8) |
| ・発熱外来 コンテナ設置 ······ | (5) | ・編集後記 ······ | (8) |



2021年 新年のご挨拶

病院長 高橋 健治

明けましておめでとうございます。2021年が始まりました。残念ながら昨年はCOVID-19のパンデミックという地球規模の災難に襲われました。果たして今年東京オリンピックは開催されるのか危惧されるところでもあります。本来人間はその字体が表している如く、相互に寄り添って生きている動物ですが、新型コロナ感染はその関係を脅かし、多くの人々に不幸をもたらしました。経済的に立ち行かなくなつて倒産や失業にみまわれたり、日頃から楽しみにしているスポーツや文化活動にも影響が及んでしまいました。そして私たちはもう暫くの間COVID-19という厄介者と付き合っていかなければならぬようです。しかし歴史は『パンデミックは必ず治まる日がやって来る』ことも教えていました。その日が何時になるのかは判りませんが、それまで辛抱強く感染予防に専念していきましょう。マスクの重要性が認識され、適度に距離を置くことや手指消毒など必要なことをやっていきましょう。ワクチンが我々の手元に届くようになるまで。

インフルエンザと新型コロナの二重の脅威の中新しい年を迎えましたが、セントラル病院はそれに備え昨年の11月より『発熱外来』を設けました。病院の建物とは別に駐車場にコンテナを設置し対応しております。また受診時間も一般外来とはなるべく重ならないように限定しています。

発熱や感染の疑いがあるから診察をしないと言うことはありません。セントラル病院は地域の皆様の支えとなる病院であろうと考えております。そして患者様や地域の医療機関の皆様と共に歩んでゆく所存ですので、本年も何卒宜しくお願い申し上げます。

新入職員紹介



頑張ってください!!

看護師

後藤 佳代子

9月より外来にて勤務しています。

趣味でママさんバレーを10年間していますが上達の気配はありません。現在は、息子オススメの本やアニメを楽しんでいます。

仕事と子育ての両立を目指して頑張ります。よろしくお願いします。

看護師

安藤 未希

10月より外来で勤務させて頂いています。皆様に温かく支えてもらい頑張っています。

旅行が好きです。特に沖縄が好きで、何度も行っています。コロナ禍が収束したら旅行に行きたいです。

生活習慣病を予防しましょう！

透析室 看護師 谷森 司麻

皆さん、11月14日が世界糖尿病デーということをご存じでしょうか。

11月14日はインスリンを発見したフレデリックバンティング博士の誕生日であり、糖尿病治療に画期的な発見に敬意を表し、この日を糖尿病デーとして顕彰されています。

世界糖尿病デーのシンボルである青い丸をモチーフにした「ブルーサークル」は、世界的に増加を続ける糖尿病に対する意識を高め、一致団結して対策していく必要性を呼びかけるために掲げられました。また各地で著名な建造物をブルーにライトアップして、街頭での啓発活動が実施されました。

当院では世界糖尿病デーにちなんで、『生活習慣を予防しましょう！』週間を設けイベントを開催しました。今年で3回目となるイベントで、2018年と2019年は食品サンプルの提供や栄養指導、健康チェックを行っていましたが、今年は新型コロナ感染症の影響も考慮して、パンフレットの設置を行いました。コンビニ食対応の食事パンフレットがとても人気でした。

このようなイベントが、ご自分やご家族、大切な人とともに糖尿病について考え、生活習慣病予防に向けたきっかけの一助となれば幸いに思います。



リハビリテーション科 見学実習を終えて

県立広島大学 保健福祉学部 理学療法学科 2年
森貞 美紅

この度はお忙しい中、2週間の見学実習を受け入れてくださいありがとうございました。見学実習ということで、実際に患者様の問診や評価、カンファレンスへの参加、人工透析室の見学、義肢装具士さんとの話など学校ではできない多くの体験をさせていただきました。また竹政理事長には貴重なお時間を割いて直接ご指導していただき、色々な症例について勉強することができました。初めての実習ということもあり、とても緊張していましたがリハビリテーション科の先生方が優しく丁寧に教えてくださったので毎日楽しく実習をすることができました。

患者様に寄り添う先生方の姿はとてもかっこよく、より一層理学療法士へのあこがれが強まりました。

最後になりましたが、実習指導の先生をはじめリハビリテーション科の皆様、職員の皆様、実習に協力してくださいました患者様、本当にありがとうございました。



病気のはなし 健診にいっていますか？

健康管理科 医師 浜井 千香



健康診断とは、ご自身の健康状態を診断し病気の兆候がないかを調べるもので、特に生活習慣病は自覚症状がないことが多いです。自分では健康と思っている場合がほとんどです。本当の健康状態を知るために年に一度、健康診断を受けることを勧めています。また、企業に勤めているかたは「労働安全衛生法」に基づき年に一度の定期健康診断の受診が義務付けられています。加入している健康保険ごとに多少の違いはあるものの、基本的に年に一回ご自身の健康状態を確認し、生活習慣病の予防や表面化していない病気を見つけるために年齢に応じて一般的な検査を行う事が大切です。

近年は、「平均寿命」よりも元気で健康に過ごすことができる「健康寿命」が注目されるようになりました。長生きできたとしても寝たきりでは人生を謳歌しているとは言い難く、年齢を重ねても若々しく健康に過ごせることの方が大切であると、考える人が増えてきています。健康を維持する為に、病気になる前に疾患リスクを発見し予防する事が重要です。

生活習慣病や動脈硬化は、自覚症状がほとんどないうちに進行するため、重大な疾患を発症する前に健診を定期的に受けることが必要になってきます。また、自分の健康状態に合わせて検査内容の組みかえや、オプション検査を追加することも可能です。通常検査結果は、すぐに治療が必要でない場合は報告書での確認になります。しかし当院では、健診当日に検査結果をふまえて診察時に可能な限り健康改善のアドバイスを行っています。また、再検査や精密検査、治療が必要な方は必ず病院に受診することを勧めています。それが早期発見、治療につながり、今後の健康寿命を延ばす事へつながっていきます。皆さん、健診に行きましょう。



発熱患者さま対応 コンテナ設置

感染対策委員会 恵谷 和郎

COVID19とインフルエンザの同時流行が心配されています。当院では発熱患者の診療において、空間的・時間的な分離対策のため、コンテナを設置しました。病院内からのリモートによる診察も可能にしています。受診される方をお守りするため、当院にも準備と対策が必要です。熱が出ると体もしんどく、ご心配も多くあると思いますが、受診の際は事前に電話で御相談ください。

受診時間・待機場所を調整させていただきます。ご不便をおかけすることもありますが、御協力をお願いいたします。



薬剤科

実務実習を終えて

福山大学薬学部 川又 亮

11週間の実習期間、短い間でしたが大変お世話になりました。

調剤業務、持参薬の鑑別、服薬指導、カンファレンスの見学など様々なことを体験させていただきました。透析室回診の見学、看護師の方の抗菌薬に関する講義、麻酔科の先生による講義など貴重な体験もさせていただきました。様々な職種の方と関わることで、チーム医療の中で薬剤師がどのようにかかわっていくのかを学ぶことができました。また、患者さまに健康に過ごしてもらうために薬剤師として何ができるかを学ぶことができました。

最後になりますが、大変忙しい中指導してくださった薬剤師の皆様、職員の皆様に感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

福山大学薬学部 二見 健生

11週間の病院実習を受け入れて頂きありがとうございました。

医薬品の管理や鑑別、調剤、カンファレンスの参加や透析室の回診など経験させて頂いて非常に勉強になりました。また、感染症の対策や抗菌薬について教えていただいたこと、指導薬剤師の先生に質問を聞いていただけたこと等、自分の将来のためになる知識を多く持つことができました。

最後になりますが、新型コロナの影響が続いている中、実習を受け入れて頂きありがとうございました。自分の体調や、持病等でいろいろご迷惑をおかけしましたが、優しく接していただいた薬剤師の先生方や事務の方々、職員の皆様、協力していただいた患者様、本当にありがとうございました。

『HLAすり合うのは、希少な縁』 ～Human Leukocyte Antigen～

診療放射線技師 仲摩 和博

このたび、岡山県にて『骨髓バンクのドナー』への協力を経験してまいりました。

ヒトの血液型にはよく知られているABO式やRh(+, -)の分類とは別に、「白血球の血液型」とも呼ばれるヒト白血球抗原(HLA)型があります。ABO式がA,B,O,ABの4通りなのに対してHLA型は白血球内の遺伝子タイプにより分類され、その組み合わせは約16000種類にもなります。HLA型は兄弟姉妹でも四分の一の確率でしか合致せず家族以外の非血縁者に至っては、数百～数万人のうち一人の確率でしか適合しません。

そんな偶然の“ご縁”骨髓バンクから『ドナー協力のお願い』のお知らせが届き、提供の意思確認、適正確認、健康診断、精密検査等々、数ヶ月をかけて準備が行われ骨髓の提供となりました。

提供方法は、骨盤骨からの骨髄移植と末梢血幹細胞移植の2種類。私の場合、持病の腰痛がありましたので末梢血幹細胞で実施となりました。

入院初日は、コロナ禍のご時世なので、まずPCR検査を行い陰性確認、そこから血液中の白血球を増やし幹細胞も増加させる為のG-CSFを朝晩2回、採取直前の朝まで繰り返し皮下注射します。これにより、白血球が6～7倍に増加します。本番当日、両腕に採血用の管、返血用の管を18Gで確保し、5時間あまり身動きのできない時間を耐えぬき無事採取を終え、幹細胞は飛行機便で即日、東北地方へ届けられました。

ドナー側である私は約一週間程度の入院で役目を終えたのですが、提供される側であるレシピエントにいたっては骨髄を受け入れる為の免疫抑制などの治療に、前後 約三か月にわたって入院・治療されています。

この世に全く同じ血液をもつ人がいる。不思議な感じです。どうか無事に生着(細胞がなじみ、正常な造血を続けること)されたこと、心より願っております。



家族の癒し系アイドル

臨床検査技師 高山 あすみ

年末年始、皆様いかが過ごされましたか。私は数か月ぶりに実家へ帰省しました。

我が家のかわいい愛猫“ささ”(4歳)のご紹介をします。

会うたびにお腹のお肉と床の距離が近くなっています。いつも元気よく走り回った後は、まるで犬のように口を開け「はあはあ」とパンティングをし始めます。見た目は大人、中身は子供のような猫なので自分が疲れてしまう加減が未だにわかっていないようです。寝ているときも豪快で、普通の猫のように丸まって寝ることは少なく、気付くと仰向けで大の字になって寝ています。完全に野性味を忘れ、どんどん貴禄が増しているようです。

今年もコロナ禍を吹き飛ばすくらい大きな笑いを、家族に届けてくれることを期待しています。



地域医療連携室だより

地域医療連携室

看護師

柳本 陽子・中村 明子
田中 育美・森政 まり子

社会福祉士

小林 道子

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

お正月は歳神様をお迎えして、この1年の幸せを授けてもらうとされ様々な風習があります。新年のご挨拶をして、無事に歳神様をお迎えできることに感謝をしていきたいと思います。昨年より新型コロナ感染拡大防止の自粛生活が続いているが、感染の危機より脱出し今年は穏やかに過ごせますようにと心から願っています。

今年も引き続き、地域医療連携室として患者様に寄り添った支援に努め、
病院・診療所・介護施設の方々と連携してまいりたいと思います。
どうぞ宜しくお願い致します。



Topics

〈セントラル病院診療日程表〉

	月	火	水	木	金	土
整形外科	午前	竹政	竹政	後藤	竹政	竹政
	午後	16時～一般外来 17時～スポーツ外来	手術 15時～川大整形	16時～一般外来 17時～スポーツ外来	手術 15時～川大整形 17時～スポーツ外来	—
外 科	午前	高橋	竹原	山口	高橋	山口
	—	乳腺甲状腺 折田	—	乳腺甲状腺 折田	—	—
内 科	午後	乳腺甲状腺 折田	—	乳腺甲状腺 折田	—	乳腺甲状腺 岩本
	午前	平川	担当医	川合	岡本	平川
	—	渡辺	渡辺	渡辺	川合	渡辺
	午後	平川	渡辺	岡本	川合	岡本
検 査	GIF	川合／竹原	岡本／山口	岡本／高橋	井上／竹原	川合／高橋
	CF	岡本	竹原	川合	岡本	川合
						—

整形外科

竹政 敏彦
(スポーツ外来は月水木17:00～)
後藤 峰範
田辺 滋樹

(川崎医科大学整形外科)
古市 州郎
河本 豊広

外 科

高橋 健治
(消化器外科・下肢静脈瘤)
山口 友範 (消化器外科)
竹原 寛樹 (消化器外科)

折田 洋二郎 (乳腺甲状腺外科)
岩本 高行 (乳腺内分泌外科)

内 科

平川 千代子 (内科・麻酔科)
渡辺 康典 (呼吸器内科)
岡本 康 (消化器内科)
川合 幸延 (消化器内科)
浜井 千香 (内科)
太田 浩子 (内科)
井上 和彦 (消化器内科)
石井 芳樹 (消化器内科)
濱田 礼子 (内科)
立本 修二 (内科)

健康管理科より

当院では『地域の方々を健康に。』を目標に、各種人間ドック・健診をおこなっています。

お気軽にお問合せ下さい。

医師 浜井 千香 / 太田 浩子

注意事項

※火曜日・木曜日の午後の整形外科診療は手術終了後に担当医が行っております。
※緊急時、ご紹介の場合は電話でお問い合わせください。

受付時間 午前: 8:30～12:00 診察時間 午前: 9:00～12:30

午後: 13:30～17:30 午後: 14:00～18:00

※土曜日は12:00までの受付です。

〒720-0809 広島県福山市住吉町1-26

代表TEL:084-924-4141 地域医療連携室TEL:084-920-1472

代表FAX:084-924-8040 FAX:084-920-9278

編集後記



新年あけましておめでとうございます。

昨年からの新型コロナウイルス感染症の流行で色々なことが制限され、外に出たい子どもと家の中で過ごすのは大変だったなあと振り返りながら編集後記を書いています。まだまだ続く感染症とこれからやってくるインフルエンザに備えて気を付けていきたいと思います。

皆様も体調管理には十分注意してお過ごしください。

広報委員 総務 村上 礼実

セントラル病院の基本姿勢

C:Center	地域医療の中核
E:Emergency	的確な救急医療
N:Network	院内外の連携体制
T:Technique	高度な医療技術
R:Research	旺盛な研究心
A:Activity	あふれる活気
L:Love	深い愛情
H:Hospitality	快適な医療環境
P:Partnership	良好なパートナーシップ

発行 特定医療法人 財団竹政会

セントラル病院

院長 高橋 健治

発行責任者